

谷崎潤一郎
江戸川乱歩

日汉对照 精装有声版

日本短篇
推理小说选

[日]江户川乱歩等著 钱晓波译

甲贺三郎 洪尾四郎



华东理工大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

日本短篇推理小说选：日汉对照 / (日)江户川乱步等著；钱晓波译。—上海：华东理工大学出版社，2018.7

ISBN 978-7-5628-5413-5

I. ①日… II. ①江… ②钱… III. ①日语—汉语—对照读物
②推理小说—小说集—日本—现代 IV. ①H369.4: I

中国版本图书馆CIP数据核字(2018)第065393号

策划编辑 / 王一佼

责任编辑 / 王一佼 赵楚月

音频制作 / 周海燕

装帧设计 / 王 翔

出版发行 / 华东理工大学出版社有限公司

地址：上海市梅陇路130号，200237

电话：021-64250306

网址：www.ecustpress.cn

邮箱：zongbianban@ecustpress.cn

印 刷 / 上海盛通时代印刷有限公司

开 本 / 787mm × 1092mm 1/32

印 张 / 8.5

字 数 / 156千字

版 次 / 2018年7月第1版

印 次 / 2018年7月第1次

定 价 / 39.80元

目 录

心理試験	江戸川乱歩 (002)
心理测试	江戸川乱歩 (003)
译者解读	走上职业作家道路的里程碑式作品
	——江戸川乱歩与《心理测试》 (084)
琥珀のパイプ	甲賀三郎 (088)
琥珀烟斗	甲贺三郎 (089)
译者解读	“本格”推理路线的倡导者与坚持者
	——甲贺三郎与《琥珀烟斗》 (154)
途上	谷崎潤一郎 (158)
途中	谷崎润一郎 (159)
译者解读	盖然性犯罪的先驱之作
	——谷崎润一郎与《途中》 (214)
夢の殺人	浜尾四郎 (218)
梦魇魔杀	浜尾四郎 (219)
译者解读	出身显赫的法曹界推理小说家
	——浜尾四郎与《梦魇魔杀》 (266)

日汉对照 · 精装有声版

日本短篇 推理小说选

[日]江户川乱步等著 钱晓波译



华东理工大学出版社

· 上海 ·

しんりしけん
心理試験

えどがわらんば
江戸川乱歩

→

蕗屋清一郎が、何故これから記す様な恐ろしい悪事を
思立ったか、その動機については詳しいことは分らぬ。又
仮令分ったとしてもこのお話には大して関係がないのだ。
彼がなかば苦学見たいなことをして、ある大学に通ってい
た所を見ると、学資の必要に迫られたのかとも考えられ
る。彼は稀に見る秀才で、而も非常な勉強家だったから、
学資を得る為に、つまらぬ内職に時を取られて、好きな
読書や思索が十分出来ないを残念に思っていたのは確か
だ。だが、その位の理由で、人間はあんな大罪を犯すもの
だろうか。恐らく彼は先天的の悪人だったのかも知れない。
そして、学資ばかりでなく他の様々な慾望を抑え兼ねたの
かも知れない。それは兎も角、彼がそれを思いついてから、
もう半年になる。その間、彼は迷いに迷い、考えに考え
た揚句、結局やっつけることに決心したのだ。
ある時、彼はふとしたことから、同級生の齊藤勇と親
しくなった。それが事の起りだった。初めは無論何の成心
があった訳ではなかった。併し中途から、彼はあるおぼろ

心理测试

江戸川乱歩

一

落屋清一郎缘何会想到去做本故事将要讲述的，如此胆大包天之事，其动机不甚了了。不过，即便知道动机，亦与本故事无太大关碍。他就读于某所大学，时不时靠勤工俭学赚取学费。由此看来，能想象是因手头拮据，为学费所困之故。他是个不可多得的秀才，且勤奋好学，为积攒学费，疲累于琐碎零工，耗时颇多，少有时间埋头于喜读之书，亦无暇勤以思考。然而，仅仅因为这个缘由，人难道会犯下这般重罪？或许，他生来便是个恶徒也未可知。不仅仅因为学费，还兼而遏制着其他各式各样的欲念。总而言之，心怀此番念头，已有半年之久。在此期间，他思来想去，百般思量，最终下定决心，要将计划付诸行动。

有次，因某件偶然之事，他与同年级的斋藤勇之间的关系变得亲近起来。这成了事情的起因。一开始当然不存有任何企图，然而渐渐地，他抱着某种模模糊糊的目的开始接近

もくでき いだ さいとう せつきん い
げな目的を抱いて斎藤に接近して行った。そして、接近し
て行くに随って、そのおぼろげな目的が段々はつきりして
きた。

さいとう いちねん まえ やまと さび やしきまち
斎藤は、一年ばかり前から、山の手のある淋しい屋敷町
しろうと やへや か いえ ぬし かんり み
の素人屋に部屋を借りていた。その家の主は、官吏の未
ぼうじん ろくじゅう ちか ろうば ぼう
亡人で、といつても、もう六十に近い老婆だったが、亡
ふのこ すうけん しゃくや あが りえき じゅうぶんせいかつ
夫の遺して行った数軒の借家から上の利益で、十分生活
でき かかわる こどもめぐ かのじよ
が出来るにも拘らず、子供を恵まれなかつた彼女は、「た
かね かくじつ しりあ こがね
だもうお金がたよりだ」といつて、確実な知合いで小金を
か貸したりして、少しずつ貯金を殖して行くのを此上もない
たの さいとう へや か ひと おんな
楽しみにしていた。斎藤に部屋を貸したもの、一つは女
くら ぶようじん りゆう
ばかりの暮しでは不用心だからという理由もあつただろう
いっぽう へやだいだ まいつき ちょきんがく ふ
が、一方では部屋代だけでも、毎月の貯金額が殖えること
かんじょう い そう い かのじよ いまだきあま
を勘定に入れていたに相違ない。そして彼女は、今時余り
きはなし しゅせん ど しんり ここんとうざい つう
聞かぬ話だけれども、守銭奴の心理は、古今東西を通じて
おなみ ひょうめんてき ぎんこうよきん ほか ばくだい げんきん
同じものと見える、表面的な銀行預金の外に、莫大な現金
じたく ひみつ ばしょ かく うわさ
を自宅のある秘密な場所へ隠しているという噂だった。

ふきや かね ゆうわく かん
路屋はこの金に誘惑を感じたのだ。あのおいぼれが、そ
たいきん も なん かち
んな大金を持っているということに何の価値がある。それ
おれ よう みらい せいねん がくし しよろ
を俺の様な未来のある青年の学資に使用するのは、極めて
ごうりでき かんたん い かれ りろん
合理的なことではないか。簡単に云えば、これが彼の理論
かれ さいとう つう でき だ ろうば
だった。そこで彼は、斎藤を通じて出来るだけ老婆について
ちしき え たいきん ひみつ かく ばしょ さぐ
ての智識を得ようとした。その大金の秘密な隠し場所を探
しが かれ ときさいとう ぐうぜん かく ばしょ
ろうとした。併し彼は、ある時斎藤が、偶然その隠し場所

斋藤。同时，随着两人关系的不断加深，曾经相当模糊的目的亦逐步变得清晰起来。

就在一年前，斋藤在城中高地¹某个冷清的街镇中，向普通人家²租了间房。这家主人是位寡居的官太太，说是这么说，其实是个已年近六旬的老妇。靠出租亡夫留下的几栋房子，过着充裕的生活。即便如此，膝下无子，孑然一身的她常言道“唯有钱才最可靠”，因此，有时也会弄点小钱放贷给可信赖的友人。眼看着存款一点一点增加上去，这渐渐成了老妇最大的生活乐趣。之所以将房间出租给斋藤，一方面老太太是想到唯有女性的生活环境颇不安全。另一方面，即便房租只有那么一丁点儿，老太太无疑是考虑到每月又能让存款有所增长之故。无论古今中外，财迷的心理均相差无几。如今倒是很少听到这种事了，除去表面上的银行存款，据传，老太太还有笔巨款藏匿在自家隐秘的地方。

这笔钱，对落屋产生了诱惑。老家伙藏着那么一大笔钱，又有何价值呢。若是能用在我这种前途无量的年轻人的学费上，这才既合情又合理。简单说来，这便是他的论调。于是，他通过斋藤尽可能地探听老妇的情形，想要打探出那笔钱的藏匿之处。有次，斋藤很偶然地发现了藏钱的地方。而在落屋从斋藤那里探听到这条消息之前，他其实还未曾有切切实

1 山の手：指城区中地势较高之处。

2 素人屋：非专业民宿。仅将房间出租的普通人家。

はっけん き べつ かくでいてき かんが
を発見したということを聞くまでは、別に確定的な考え方
もわけ
持っていた訳でもなかった。

きみ ばあ かんしん おも たいてい えん
「君、あの婆さんにしては感心な思いつきだよ、大抵、縁
した てんじょううら かね かく ば しょ きま
の下とか、天井裏とか、金の隠し場所なんて極っているも
のだが、婆さんは一寸意外な所なのだよ。あの奥座敷の
とこ ま おお もみじ うえ き ばち お
床の間に、大きな紅葉の植木鉢が置いてあるだろう。あの
うえ き ばち そこ かく ば しょ どろぼう
植木鉢の底なんだよ。その隠し場所がさ。どんな泥坊だつ
て、まさか植木鉢に金が隠してあろうとは気づくまいから
ね。婆さんは、まあ云って見れば、守銭奴の天才なんだね」

とき さいとう い おもしろ わら
その時、斎藤はこう云って面白そうに笑った。
いらい ふきや かんが すこ ぐ たいてき い
それ以来、躊躇の考えは少しづつ具体的になって行った。
ろうば かね じぶん がくし ふりか けいろ ひと ひと
老婆の金を自分の学資に振替える径路の一つ一つについて、
かのうせい かんじょう い うえ もっと あんぜん ほうほう かんが
あらゆる可能性を勘定に入れた後、最も安全な方法を考
え出そうとした。それは予想以上に困難な仕事だった。こ
れに比べれば、どんな複雑な数学の問題だって、なんでも
なかつた。彼は先にも云つた様に、その考を纏めるだけの
ため はんとし ついや
為に半年を費したのだ。

なんてん い いか けいばつ まぬか
難点は、云うまでもなく、如何にして刑罰を免れるかと
りんりじょう しょうがい すなわ りょうしん かしゃく
いうことにあつた。倫理上の障礙、即ち良心の呵責と
よう かれ もんだい かれ
いう様なことは、彼にはさして問題ではなかつた。彼はナ
おおがかり きつじん ざいあく かんが むし さん
ボレオンの大掛りな殺人を罪悪とは考えないで、寧ろ讃
び おな よう さいのう せいねん さいのう そだ
美すると同じ様に、才能のある青年が、その才能を育てる
ため かんおけ かたあし こ ぎ せい きよう
為に、棺桶に片足をふみ込んだおいぼれを犠牲に供すること
とうぜん おも とを、当然だと思った。

实的计划。

“哎，老太婆能想到这主意倒挺令人佩服的。一般来说，要么外廊底下，要么房顶夹层，藏钱之处不外乎这些，可老太婆藏的地方却着实意外。里间客厅的壁龛上不是摆着个挺大的红叶盆栽嘛。藏钱之处就在那花盆的底部。无论什么样的窃贼，绝对不会意识到盆栽里竟然藏着钱。如此说来，老太婆还真是守财奴里的天才呐。”

那时，斋藤饶有兴味地笑着那么说道。

由此，蕗屋的计划逐步开始具体化起来。如何将老妇的钱一步步转变为自己的学费，他设想了所有可能发生的事情，试图寻找出最无懈可击的方法。这可比想象中要难得多。与此相比，无论多复杂的数学题都变得轻描淡写。因此，正如之前所述，仅仅为了制订整个计划，蕗屋就耗费了半年之久。

那么究竟难于何处呢，不用说自然是如何逃避刑罚这个问题。对蕗屋来说，道德上的阻碍，即所谓良心的苛责，并不构成什么大问题。他认为类似于拿破仑那种大规模的屠戮并不构成罪孽，甚至还值得礼赞。与此相同，一个有才干的年轻人，为培养这种才干，牺牲个把早已一只脚踩到棺材里去的老家伙，完全是理所当然的事情。

老婆は滅多に外出しなかった。終日黙々として奥の座敷に丸くなっていた。たまに外出することがあっても、留守中は、田舎者の女中が彼女の命を受けて正直に見張番を勤めた。蕗屋のあらゆる苦心にも拘らず、老婆の用心には少しの隙もなかった。老婆と斎藤のいない時を見はからつて、この女中を騙して使に出すか何かして、その隙に例の金を植木鉢から盗み出したら、蕗屋は最初そんな風に考えて見た。併しそれは甚だ無分別な考えだった。仮令少しの間でも、あの家にただ一人でいたことが分っては、もうそれだけで十分嫌疑をかけられるではないか。彼はこの種の様々な愚かな方法を、考えては打消し、考えては打ち消すのに、たっぷり一ヶ月を費した。それは例えば、斎藤が女中か又は普通の泥坊が盗んだと見せかけるトリックだとか、女中一人の時に少しも音を立てないで忍込んで、彼女の目にふれない様に盗み出す方法だとか、夜中、老婆の眠っている間に仕事をする方法だとか、其他考え得るあらゆる場合を、彼は考えた。併し、どれにもこれにも、発覚の可能性が多分に含まれていた。

どうしても老婆をやっつける外はない。彼は遂にこの恐ろしい結論に達した。老婆の金がどれ程あるかよく分らぬけれど、色々の点から考えて、殺人の危険を犯してまで執着する程大した金だとは思われぬ。たかの知れた金の為に何の罪もない一人の人間を殺して了うというのは、余りに残酷過ぎはしないか。併し、仮令それが世間の

老妇几乎不外出。整日默然地窝在里间。偶尔外出时，乡下女佣受其命尽心尽力担起看家之责。落屋费尽心机，一点儿都找不出老妇的任何漏洞。瞅准她和斋藤不在之机，诱骗女佣出门办点事儿什么的，趁此机会将钱财从花盆中盗走。落屋一开始曾经如此考虑过。然而，这却是个相当轻率的主意。即便是很短的时间，若被发觉当时只有他一人在老妇宅中的话，不就有充分的理由被怀疑吗？类似这般蠢笨的念头，冒出来后又被否定掉，冒出来后又被否定掉，足足耗费了一个月的时间。又比如，要个什么手段，假装成钱是被斋藤，或是女佣，又或者一般窃贼偷走的。比如当女佣一人在家时，屏声静气，趁其不备，将钱财偷盗出来。又或者深更半夜，趁老太婆睡熟之际干这勾当。其他能想到的办法，他都想遍了。然而，无论哪种办法均很有可能被识破。

除了把老太婆弄死之外别无他法，他最终得出了这个结论。虽不清楚其钱财到底有多少，但综合各方面的情形来看，应该还未巨大到要冒险杀人的数额。况且，就为了这点有限的钱财，去加害一个无辜之人，是否太过残忍了呢。以社会上的标准来看，这点数额或许不足挂齿，然而对于穷困潦倒的落屋来说，却足以令其满意了。不仅如此，他考虑问题的

ひょうじゅん みたい きんがく びんぼう ふきや
 標準から見ては大した金額でなくとも、貧乏な露屋には
 じゅうぶんまんぞくでき かれいこう もんだい
 十分満足出来るのだ。のみならず、彼の考によれば、問題
 きんがく たしょう はんざい はっかく ぜつたい ふかのう
 は金額の多少ではなくて、ただ犯罪の発覚を絶対に不可能
 ならしめることだった。その為には、どんな大きな犠牲を
 はら すこ さしおえ ため おお ぎせい
 扱っても、少しも差支ないのだ。
 さつじん いっけん たん せつとう いくそうばい きけん しごと
 殺人は、一見、単なる窃盗よりは幾層倍も危険な仕事
 ようみ いっしゅ さっかく す
 の様に見える。だが、それは一種の錯覚に過ぎないのだ。
 なるほど はっかく よそ しごと さつじん
 成程、発覚することを予想してやる仕事なれば殺人はあら
 はんざい なが もつと きけん そうい しなが はんざい
 ゆる犯罪の中で最も危険に相違ない。併し、若し犯罪の
 けいちょう はっかく なんい めやす かんが ば
 軽重よりも、発覚の難易を目安にして考えたならば、場
 あい たと ふきや ぱあい ごと むし せつとう ほう
 合によっては（例えは露屋の場合の如きは）寧ろ窃盗の方
 あやう しごと はん あくじ はけんしや
 が危い仕事なのだ。これに反して、悪事の発見者をバラし
 しま ほうほう ざんこく かわ しんばい むかし えら
 て了う方法は、残酷な代りに心配がない。昔から、偉い
 あくにん へいき ひとごろ かれら
 惡人は、平氣でズバリズバリと人殺しをやっている。彼等
 なかなか かえ だいたん さつじん かげ
 が却々つかまらぬのは、却ってこの大胆な殺人のお蔭なの
 ではなかろうか。

ろうば はた きけん
 では、老婆をやっつけるとして、それには果して危険が
 もんだい ふきや すう かげつ あいだ
 ないか。この問題にぶッつかってから、露屋は数ヶ月の間
 かんが とお なが あいだ かれ ふう かんがえ そだ
 考え通した。その長い間に、彼がどんな風に考を育て
 い ものがたり すす したが どくしゃ わか
 行ったか。それは物語が進むに随って、読者に分ること
 はぶと かく かれ とうてい ふつうじん かんが
 とだから、ここに省くが、兎も角、彼は、到底普通人の考
 およ でき ほど び い さい うが ぶんせきならび
 え及ぶことも出来ない程、微に入り細を穿った分析並に
 そうち けつか ちりひとすじ てぬ ぜつたい あんぜん ほうほう
 総合の結果、塵一筋の手抜かりもない、絶対に安全な方法
 かんが だ を考へ出したのだ。

重点并不在于数额多少，而是如何让犯罪不被觉察。为此，无论要付出多大牺牲，他都在所不惜。

谋杀，看起来比单纯的盗窃要危险好几倍。然而，这其实不过是种错觉而已。当然，若是罪行终将败露，那么谋杀无疑是所有犯罪中最危险的。不过，若不论罪行的轻重，而以是否容易被发现为判断标准来看的话，根据情况（比如落屋的情形），不如说盗窃来得更为危险。反观而言，索性把现场的目击证人除掉，虽残酷但不会留下后遗症。从古至今，大奸大恶之徒们，冷静沉着，利落干净地屠戮，之所以难以被惩处，难道不正是因为他们胆大包天吗？

那么，要除掉老太婆，到底危不危险呢。从开始有这个念头，落屋耗费了数月时间来考虑这问题。如此长的时期，他到底是怎么计划的呢。随着故事展开，读者就会明白，这里先省略不谈。不管怎样，他的计划一般人绝对无法想象，通过细致入微地分析，再综合出结论，他整理出了百密而无一疏，绝对稳妥周全的计划。

今はまだ、時機の来るのを待つばかりだった。が、それは案外早く来た。ある日、斎藤は学校関係のことで、女中は使に出されて、二人共夕方まで決して帰宅しないことが確められた。それは丁度路屋が最後の準備行為を終った日から二日目だった。その最後の準備行為というのは（これ丈けは前以て説明して置く必要がある）嘗て斎藤に例の隠し場所を聞いてから、もう半年も経過した今日、それがまだ当時のままであるかどうかを確める為の或る行為だった。彼はその日（即ち老婆殺しの二日前）斎藤を訪ねた序に、初めて老婆の部屋である奥座敷に入つて、彼女と色々世間話を取交した。彼はその世間話を徐々に一つの方向へ落して行った。そして、屡々老婆の財産のこと、それを彼女がどこかへ隠しているという噂のあることなど口にした。彼は「隠す」という言葉の出る毎に、それとなく老婆の眼を注意した。すると、彼女の眼は、彼の予期した通り、その都度、床の間の植木鉢（もうその時は紅葉ではなく、松に植えかえてあったけれど）にそっと注がれるのだ。路屋はそれを数回繰返して、最早や少しも疑う余地のないことを確めることが出来た。

一

さて、愈々当日である。彼は大学の正服正帽の上に学生マントを着用し、ありふれた手袋をはめて目的の場所に

现在，只需等待时机的来临。这不，机会比预想的来得要早。某日，斋藤因学校有事，女佣则被差遣外出，蕗屋获悉两人不到傍晚肯定不会回到宅中。这正巧是蕗屋做好最后准备的两天之后。所谓最后准备是这么回事情（需要在此做下说明）。从斋藤那儿探听到钱财的藏匿之所，业已过去了半年。为了确证藏匿之所未出现变化，蕗屋做了这么件事儿。那天（即谋杀老妇的两天前）他去探访斋藤之际，第一次进到老妇住的里间，与她东拉西扯地闲聊了一阵。蕗屋刻意将闲聊的话题引向一个方向。同时，屡次提及老妇的财产，告诉她听人说起过藏匿财产的事情。每次说到“藏匿”这个词的时候，蕗屋暗中观察着老妇的眼神。与其预想的相同，老妇的目光果然每次都悄然落到客厅的花盆上（那时栽种的已非红叶，改换成了松树）。蕗屋反复试探了多次后，确定已无须再做任何怀疑了。

二

终于，到了当天。蕗屋穿戴好大学正式的制服制帽，又在外面罩了件学生披风，戴好常见的手套，朝着目的地走去。

むか 向った。彼は考えに考えた上、結局変装しないことに極き
 かれ かんが かんが うえ けつきよくへんそう
 めたのだ。若し変装をするとすれば、材料の買入れ、着換
 もへんそう そのほかさまざま てん はんざいはっかく てがか のこ
 えの場所、其他様々の点で、犯罪発覚の手掛りを残すこと
 ものごと ふくざつ すこ こう
 になる。それはただ物事を複雑にするばかりで、少しも効
 果がないのだ。犯罪の方法は、発覚の虞のない範囲に於て
 でき かぎ たんじゅん か い
 は、出来る限り単純に且つあからさまにすべきだと云うの
 かれ いっしゅ てつがく よう もくべき いえ はい ところ み
 が、彼の一種の哲学だった。要は、目的の家に入る所を見
 たとい いえ まえ とお
 られさえしなければいいのだ。仮令その家の前を通ったこ
 わか すこ さしつかい かれ そのへん さん
 とが分つても、それは少しも差支ない。彼はよく其辺を散
 ぼ とうじつ さんぽ
 歩することがあるのだから、当日も散歩をしたばかりだと
 い ぬ でき どうじ いっぽう お かれ もく
 云い抜けることが出来る。と同時に一方に於いて、彼が目
 てき いえ いと ちゅう しりあ ひと み ばあい
 的の家に行く途中で、知合いの人に見られた場合（これは
 かんじょう い お みよう へんそう
 どうしても勘定に入れて置かねばならぬ）妙な変装をし
 ほう とお せいふくせいぼう ほう
 ている方がいいか、ふだんの通り正服正帽でいる方がいい
 かんが み はんざい じかん
 か、考えて見るまでもないことだ。犯罪の時間についても
 ま つごう よる さいとう じょちゅう ふざい よる
 待ちさえすれば都合よい夜が——斎藤も女中も不在の夜が
 わか なぜ かれ きけん ひるま えら
 あることは分っているのに、何故彼は危険な昼間を選んだ
 ふくそく ばあい おな はんざい ふ ひつよう ひみつせい
 か。これも服装の場合と同じく、犯罪から不必要な秘密性
 のぞ ため を除く為だった。

しか もくべき いえ まえ た とき さすが かれ ふつう
 併し目的の家前に立った時だけは、流石の彼も、普通
 どろぼう とお おぞ かれら いじょう せん
 の泥棒の通りに、いや恐らく彼等以上に、ビクビクして前
 ごさゆう みまわ ろうば いえ りょうどうなり いけがき きょう
 後左右を見廻した。老婆の家は、両隣とは生垣で境した
 いつけん だ むこうがわ ふごう ていたく たか
 一軒建ちで、向側には、ある富豪の邸宅の高いコンクリー
 べい いつちょう づづ さび やしきまち
 ト塀が、ずっと一町も続いていた。淋しい屋敷町だから、